

「自然広場から： 近隣の自然の変化に目を向ける No.27 秋の七草 Seven autumnal flowers」

2020年9月28日

秋の七草をすぐに言えますか？恥ずかしながら、私は言えませんでした。ネットで調べたところ、万葉集で山上憶良が詠んだ和歌に由来することが分かった。

山上憶良(万葉集) およびをり ななくさ
「秋の野に 咲きたる花を 指折り かき数ふれば 七種の花」
はぎ おばな くずばな なでしこ おみなえし ふじばかま あさがお
「萩の花 尾花 葛花 撫子の花 女郎花 また藤袴 朝貌の花」

そこで、この7つの花を近隣で探してみようと思い立ち、今まで以上に目を凝らして歩き回った。アルバムの中の円内は、変種(西洋種、園芸種を含む)である。萩の変種は古来より知られていたものだ。パンパスグラス＝シロガネヨシは、背丈が大きく堂々としていてススキと同時期に見られる(変種ではない)。葛は、最近ほとんど刈り取られ、花を見つけるのに少々苦労した。ナデシコとフジバカマはすぐには見つからなかったのだが、幸いなことに昨日(9/27)、七草すべてに出会え、写真に収めることができた。「求めよ、さらば与えられる。捜せ、そうすれば見つかる」(聖書)を思い出した。

ナデシコの正式名はカワラナデシコ。女子プロサッカーチームのニックネーム「ナデシコジャパン」は大和撫子(清楚で美しい日本女性)に由来する。ネット情報によると、西洋には300種ものナデシコが存在するという。平たい植木鉢に植えて玄関先に置かれた4株(円内の写真)はどれも西洋種であった。それでも芦花公園近くの家の庭先で出会えた時は嬉しかった。

実は、カワラナデシコとフジバカマとキキョウ(万葉の時代には朝貌/アサガオと呼ばれていた)は数日前に仙川駅近くの家の垣根の外で撮影したものだ。家主は秋の七草を揃えて植えられたに違いない。他の4種はなかったが、家主の奥ゆかしさが表れているようで、頭を下げた。なお、八重とピンクのキキョウは園芸種で、芦花恒春園内に植えられていた。不思議な出会いをたくさん経験した秋の七草探しであった。

http://sengawacx.com/LookNatureNo27_2020.jpg